

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------|---------------------|---------|--|------------|
| ジョルダン | カラク地域総合開発計画 | 開1 | ジョルダン西部のカラク・タフィラ地域を対象に、西暦2005年を目標とした総合開発計画を策定するものである。昭和61年度は7月から現地本格調査を実施し、計画地域の現状調査及び開発ポテンシャルの分析を行ったうえ、11月にプログレス・レポートを作成した。また12月より第2次現地本格調査を実施し、開発フレームの策定を行ったうえ、中間報告書として取りまとめ、現地説明を行い、同報告書をジョルダン側へ提出した。 | 都市地方環境省 |
| モロッコ | カサブランカ新高架交通システム建設計画 | 開4 | モロッコ最大の都市カサブランカ市の交通混雑解消のため、高架高速鉄道建設計画についてF/Sを実施するものであり、昭和61年度は昭和60年度に引き続き、本格調査を実施した。 | 内務省 |
| モロッコ | ウジュダ州地下水・農村開発計画 | 開4 | モロッコ ウジュダ州3地区(Oujda, Serada及びTaufirt)の既存の農村における地下水の補完及び新設により雑飲用水を確保するとともに、集約農地を設け麦類を主体とした農業生産を行うことと、農村の生活基盤を改良することをねらいとするモデル的農村開発計画を策定するもので、昭和61年度は、ドラフトファイナルレポートの現地説明を行い、ファイナルレポートを取りまとめた。 | 外務協力省 |
| オマーン | ワジ・ジジ農業開発計画 | 開7 | オマーン ワジ・ジジ流域の水資源(農業)開発のために、地下水涵養強化及び洪水低減を目的とした抑留ダム及び拡散施設建設のための実施設計調査を実施するもので、昭和61年度は昭和59年度から60年度にかけての、実施設計第1次調査及び第2次調査を踏まえ、ファイナルレポートを作成した。(調査団派遣なし) | 農漁業省 |
| オマーン | ネジド地方農業開発計画 | 開3 | オマーン南部ドハール州都サララの北約100kmに広がる砂漠約6000km ² のうち同国側予備調査で農業開発の可能性の高いとされる3地区Wadi Makhawrim(1万2000ha), Duka(1万ha), Shirur(6000ha)の計2万8000haを対象として、地下水賦存量把握のための調査と賦存地下水利用による農業開発ガイドライン策定のための調査を実施するもので、昭和61年度は、事前調査を実施した。 | 農漁業省 |
| カタール | ドーハ市地下水排水対策調査 | 開4 | ドーハ市及びその周辺において近年地下水位の上昇が著しく、被害が発生しているため、その実態を把握し、緊急排水対策を確立するものであり、昭和61年度はファイナルレポートを作成・提出した。 | 首長府 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-----------|-----------------|---------|---|--------------------|
| サウディ・アラビア | 海水淡水化技術協力計画 | 海4 | <p>サウディ・アラビアに海水淡水化技術研究センターを設立し、わが国が供与する蒸発法（MSF）テストプラント、逆浸透法（R/O）テストプラント、研究機材を使って腐食防止スケールの研究、R/O モジュール性能試験、化学分析等の共同研究を行うことを目的とする。</p> <p>昭和61年度は、10月に SWCC から当事業団に対し、R/D 延長がサウディ・アラビア王国閣議で承認された旨の通知とともに、訓練協力の内容変更案及び研究施設への既存建物利用案を提示してきたことを受け、当事業団はその具体的内容を調査し、R/D 延長の可能性を判断するため、昭和62年2月コンタクトミッションを派遣した。</p> | 海水淡水化公団（SWCC） |
| テュニジア | 地形図作成事業 | 開2 | <p>テュニジア北部地域について20万分の1地形図を作成するものであり、昭和61年度は昭和60年度に引き続き、現地本格調査を実施した。</p> | 設備省 国土設備局 |
| | メジュールダ川流域森林管理計画 | 開3 | <p>テュニジアの森林資源の適切な維持管理、国土保全、及び安定的な木材供給等に資するため、同国北部メジュールダ川流域のうち約100万 ha を対象に森林資源の把握及び森林管理計画の策定を行うもので、昭和61年度は、要請内容の把握、実施可能性の検討を目的としたコンタクトミッションを派遣した。</p> | 農業省 森林局 |
| トルコ | チョルフ川水力発電開発計画 | 海4 | <p>本件は、トルコ共和国の北東部を流れ、ソ連領内において黒海に注ぐチョルフ川の水力発電開発計画に対し技術的、経済的な妥当性を検討することを目的とする。</p> <p>昭和61年度は、国内にて最適発電開発計画の検討、財務・経済分析等を行い、その結果を最終報告書として取りまとめ、昭和61年11月現地説明を実施したあと、トルコ側に同報告書を提出した。</p> | 電力施設 調査庁（EIE） |
| | ディキリ・ベルガマ地熱開発計画 | 海4 | <p>トルコのエネルギー源多様化、国産化政策を背景として、同国に豊富に存在する地熱エネルギーを開発することを目的とする。</p> <p>昭和61年度は、ディキリ・ベルガマ地域において、地質調査、地化学探査、重力探査、電気探査を実施し、地熱貯留構造の解明を行った。</p> | 鉱物資源 調査研究所（MTA） |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------|----------------------------|---------|---|-----------------|
| トルコ | ギュムシャネ地域資源開発計画 | 資8 | <p>ギュムシャネ地域において、多金属鉱床、グライゼン鉱床、ポーフィリー・カッパー型鉱床の分布状況を把握することを目的とする。</p> <p>昭和61年度は物理探査（IP法、SIP法14km）及びボーリング調査（7孔：2150m）を実施し、ハッサンデレ地区に1.8×1.8kmにわたって鉱化帯・変質帯が発達しており、銅が0.2%以上の部分の埋蔵鉱量は約4900万トン、銅換算品位で0.356%であることを確認した。</p> | 資源調査開発研究所 |
| イエメン | 都市交通計画 | 開3 | <p>近年、急速に都市化の進んだサナア、タイズ、ホディダの3都市について、都市交通問題解消のために都市交通計画を策定するものであり、昭和61年度はコンタクトミッションを派遣した。</p> | 都市住宅省 |
| アフリカ | | | | |
| カメルーン | パイゴム農業開発計画 | 開4 | <p>カメルーン第2の都市ドアラから北東200kmに位置するパイゴム平野3000haを対象に、稲作（陸・水稲）を中心とする農業開発計画を策定、更に、3000haの開発の核となるパイロットファーム（200ha）を設置し、中核農民の育成及び新品種導入、水管理、施肥等の試験を行うもので、昭和61年度は、ドラフトファイナルレポートを説明、協議のうえ、ファイナルレポートを作成した。</p> | 農業省 計画省 |
| 象牙海岸 | ブ川流域農業開発計画 | 開3 | <p>象牙海岸北部ブ川流域シラソ地区約5000haを対象として、稲作を主体としつつ、畑作や牧畜振興も含めた多角的な農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、事前調査を行った。</p> | 農村開発省 |
| | アフリカ開発銀行協議調査（プロジェクト形成基礎調査） | 開11 | <p>アフリカにおける当事業団の開発調査事業を効率よく実施するため、同地域における融資能力と豊富な情報を有するAFDBを案件発掘・形成基礎調査の対象とした。</p> <p>わが方のスキームの説明に対しAFDB側より10件を上回る案件のプロポーザがあり、今後実施の可能性を検討していく。</p> | AFDB |
| ケニア | ヴィクトリア湖周辺地域総合開発計画 | 開1 | <p>ヴィクトリア湖周辺地域を対象に水資源開発・交通網整備及び農漁業開発並びにその関連産業育成に重点を置いた総合開発計画を策定するものである。</p> <p>昭和61年度は、昭和60年度に引き続き現地本格調査を実施し、11月に開発フレームを策定のうえ中間報告書を作成し、更に昭和62年3月優先プロジェクトを選定のうえ地域総合開発M/Pを策定し、ドラフトファイナルレポートとして取りまとめ、ケニア側へ提出した。</p> | ヴィクトリア湖周辺地域開発公社 |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予算内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|--------|-------------------|---------|--|----------------------|
| ケニア | ムエア地区かんがい開発計画 | 開4 | ケニア ナイロビ北東90kmに位置するムエア地区において、既存かんがい地区の復旧改修、隣接地区の新規かんがい及び周辺 Red Soil 地帯の適正な開発計画を策定するもので、昭和61年度は、新規に作成した地形図をもとに、F/S 調査を開始した。 | 国家 かんがい庁 |
| | ナイロビ・バイパス建設計画 | 開3 4 | ナイロビ市の通過交通混雑改善のための4車線約25kmに及ぶバイパス建設計画にかかるF/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査団を派遣してS/Wを締結し、これに基づき現地本格調査を開始した。 | 運輸通信省 |
| | ケニア南部地区国土基本図作成事業 | 開3 | ケニア南部地区(2万9800km ²)にかかる1/50000国土基本図を作成するものであり、昭和61年度は、コンタクトミッション及び事前調査団を派遣し、S/Wを締結した。 | 土地・定住 省測量局 |
| マダガスカル | フィアナランツォア地域農業開発計画 | 開3 | マダガスカルの首都アンタナナリボの南に位置するフィアナランツォア市の東部を流れるマチアトラ河流域の既存かんがい地区8カ所約1200haを対象に、かんがい排水施設の復旧、改修、周辺地区の新規かんがい計画を策定するとともに、営農改善計画、収穫後処理施設、農道等の整備計画を策定するもので、昭和61年度は、コンタクトミッションを派遣し、S/Wを締結した。 | 農村開発 改革省 |
| マラウイ | チルワーアルカリ地域資源開発調査 | 資8 | 本調査は、チルワーアルカリ地域に存在するカーボナタイト岩体を抽出し、その鉱床としての賦存状況を明らかにすることを目的とする。 昭和61年度は既存データコンパイル及びランドサット画像解析(30000km ²)並びに地質調査・地化学探査(300km ²)を実施し、4地区のカーボナタイトを鉱床としてのポテンシャルが高い岩体として抽出した。 | 森林天然 資源省地質 調査所 |
| ニジェール | ウナ・クワンザ農業水利整備計画 | 開3 | ニジェールの首都ニアメの南東約200km、ニジェール河流域のウナ・クワンザ盆地約3800haを対象としたの農業水利整備計画策定のためのF/Sを実施するもので、昭和61年度は事前調査を実施し、S/Wを締結した。 | 農村開発省 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分類 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------|--------------------------|----------|---|---------------------|
| ニジェール | プロジェクト形成基礎調査 | 開11 | 同国はサブサハラにおける援助重点国であるが、わが方の援助のスキームを十分理解していない面があり、また、案件形成能力も不十分であるため、その支援が必要な国である。昭和61年11月に派遣したプロジェクト選定ミッションに対しても形成支援調査団派遣の要請があり、これを受けて昭和62年1月形成調査団を派遣し、「ウアラム地区農村総合開発計画」にかかるドラフト T/R を相手方と協議しつつ作成した。ニジェール側より正式要請があり、本件調査は、昭和62年度中に実施される予定である。 | 外務省 計画省等 関係省庁 |
| セネガル | 小規模農村開発計画及び農業実証調査 | 開4 | (小規模農村開発計画) セネガル チャゴーギエル湖地区の農地約 200ha 及びチャゴ部落を対象とし、井戸を利用した飲雑用水の確保、ギエル湖運河を水源とした水田及び畑の整備、農民組織の整備等をコンポーネントとした小規模農村開発計画を策定するものである。 (農業実証調査) セネガル チャゴーギエル湖地区において約 200ha の農地にかかる基盤整備計画が小規模農村開発計画により策定され、その対象地区のうち約 5 ha を実証圃として造成した。この実証圃を中心とした試験栽培及び水管理等の現地実証を行い、当該地域に最も適する営農体系を確立するとともに、同地域における普及活動を実施するもので、昭和61年度は、小規模農村開発計画、農業実証調査にかかるドラフトファイナルレポート及び農業実証プログラムレポートの現地説明を実施し、また、農業実証調査としての第1年次であり、調査環境条件の整備と実証調査機材の設置及び第1回雨期作及び乾期作の作付を開始した。 | 計画協力省 |
| セネガル | 経済技術協力調査(緑の国際協力プロジェクト形成) | 開11 | 昭和61年2月の緑の国際協力プロジェクト・ファインディング調査の結果、セネガル側から植林活動について協力依頼があった。これを受け、本件調査団はいかなる形態で協力可能かを検討し、JOCV を中心にした「緑の推進協力プロジェクト」(専門家1人、協力隊員8人、小規模機材供与等の要請から成る)を形成した。(60年度繰越予算) | 自然保護省 他関係機関 |
| タンザニア | キリマンジャロ林業開発計画 | 開3 4 | タンザニア キリマンジャロ州サメ県内の20万 ha を対象に、航空写真撮影、現地調査、社会経済分析等により、地域社会林業適地区区分を行い、同調査地域内に設定した2万 ha のモデル地区に対し半乾燥地森林管理計画を策定するもの。昭和61年度は、事前調査を実施し、同国政府と協議のうえ、S/W を締結、更に本格調査(航空写真撮影、情報、データの収集及び分析)を実施した。 | 天然資源 観光省 林野局 |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------|--------------------|---------|---|--------------------|
| タンザニア | ハイ・ロンボ地区農業開発計画 | 開3 | タンザニア キリマンジャロ州のハイ・ロンボ両地区(約1300km ²)を対象として、地下水利用可能量等を評価したうえで、5000～1万haを対象に地下水利用農業開発計画を策定、更に、両地区からそれぞれ代表的なパイロット地区を1カ所ずつ選定し、パイロット施設の予備設計を行う(対象面積500ha)もので、昭和61年度は、コンタクトミッションを派遣した。 | キリマンジャロ州開発庁 |
| | キリマンジャロ小水力発電開発計画 | 海3 | キリマンジャロ州の水力資源を有効に活用すべく、同州内にリスト・アップされた9カ所の候補地点の中から2005年時点の需要に見合った最適規模の小水力発電所建設サイトを選定し、その最適開発計画を策定するもの。 昭和61年度は、昭和62年3月に事前調査団を派遣し、先方関係機関と協議のうえ、本格調査にかかるS/Wに合意、署名した。 | タンザニア電力公社(TANESCO) |
| ザイール | キンシャサ～バナナ間交通体系総合調査 | 開1 | ザイール バザイール州の交通体系調査について、マディ橋の経済効果を高めることを考慮に入れ実施するものである。またキンシャサ市内の交通調査も実施するものであり、昭和61年度は最終報告書の作成・提出を行った。 | 外務協力省 |
| | キセンソ・キンバンセケ鉄道建設計画 | 開34 | ザイールの要請により、わが国が作成したキンシャサ～バナナ間における交通セクターごとのM/Pに基づき、この中でも優先順位の高いキンバンセケ線の新設にかかるF/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査を実施し、本格調査を開始した。 | 運輸省 |
| ザンビア | 農業実証調査 | 開11 | ザンビアにおける農業実証調査を実施するため、西部州モンゴ地区及び南部州チョマ郡の2カ所の実証調査候補地の現地踏査を行い、実証調査実施地区の概定、並びに同国政府関係機関と必要な協議を行うもので、昭和61年度は、コンタクトミッションを派遣した。 | 農業水資源開発省 協同組合省 |
| | 豆炭生産計画 | 海4 | マンバ炭鉱における選炭過程で発生廃棄されている粉状炭を原料とし、ナカンバラ砂糖工場で排出されているモラセスあるいはバガスを結合材料として、豆炭を製造し、あわせて豆炭用コンロを製造するためのパイロットプラント建設に対する技術的・経済的実行可能性のための計画を策定するものである。 昭和61年度は、昭和60年度に実施した現地調査及び国内解析作業の結果に基づき、最終報告書(案)を取りまとめ、昭和61年10月に現地報告を実施した。 | 国家応用科学研究所 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|----------|----------------------|---------|--|-----------------|
| ザンビア | 磷酸肥料工場建設計画 | 海34 | チレンヴェの磷鉱石とムクシの蛇紋岩及びルサカのドロマイトを利用してザンビア内に熔成磷肥工場を建設する計画に関し、その企業化の可能性を技術的、財務的、経済的観点から調査する。 昭和61年度は、昭和61年8月に事前調査団を派遣し、S/Wの署名を行った。その後、昭和61年11月に本格調査を実施した。 | 工業開発公社 (INDECO) |
| | カレンダ地域資源開発調査 | 資8 | カレンダ地域において、銀・銅・鉛・亜鉛鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は昨年度確認した物理探査異常域、地化学異常域に対して物理探査(SIP法：6km)及びボーリング調査(7孔：1700m)を実施した。 | 鉱工業公社 |
| ジンバブエ | マシング州中規模かんがい計画 | 開4 | ジンバブエ マシング州には、黒人共有地が18地区あり、面積は全州の約40%、190万haにのぼっている。この広大な地域のなかから自然条件や社会条件をみて、中規模ダム計画の候補地を数カ所選定し、各候補地を対象とした中規模ダムによるかんがい農業開発のF/Sを実施するもので、昭和61年度は、基礎的資料収集及び候補地選定を主目的とした本格調査を実施した。 | エネルギー省 (開発) 省 |
| | カドマ地域資源開発計画 | 資8 | 本調査は、カドマ地域において金・銀・銅・鉛・亜鉛・ニッケル・鉄等多種類の鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は地質調査・地化学探査(5000km ²)を実施し、タングステン・金・ニッケル等の地化学異常域を抽出した。 | 鉱山省 地質調査局 |
| アフリカ区分不能 | | | | |
| マダガスカル | 経済技術協力調査(プロジェクト選定確認) | 開11 | ガーナ、ケニア、マダガスカル各国に対して、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、無償及び開発調査を中心に、当該国のニーズに見合った案件の発掘に努め、また今後の協力のあり方について意見交換を行った。 | 当該国経済技術協力関係省庁 |
| 象牙海岸 | 経済技術協力調査(プロジェクト選定確認) | 開11 | 両国について経済技術協力全般にかかる政策対話及び過去の協力実施のレビューを行い、昭和62年度を中心とする案件選定を行った。また、アフリカ開発銀行と域内加盟国の開発について連携を図るため、意見交換を行った。 | 当該国経済技術協力関係省庁 |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------------|----------------------------|---------|---|-----------------------|
| ザンビア、モザンビーク | 南部アフリカ経済技術協力調査（プロジェクト選定確認） | 開11 | 南アフリカ共和国情勢の展開により、経済的困難にある周辺国において、わが国の経済技術協力を従来に引き続き強化していくことについて先方政府関係者と協議を行うとともに、いかなる協力が必要とされているかを探るべく調査を実施した。 | 当該国経済技術協力関係省庁 |
| 中 南 米 | | | | |
| アルゼンティン | メンドーサ州電気通信・放送網整備拡充計画 | 開4 | 新サービス導入、無電話村落対策を含む電気通信網整備長期計画策定と放送未サービス地域・難視聴対策を含む放送網整備計画の骨子の提言を行うもので、昭和61年度は、現地調査を実施し、インテリムレポートの作成・説明を行った。 | メンドーサ州公共事業・サービス省電気通信局 |
| | 国鉄車両検修工場建設計画 | 開4 | アルゼンティン国鉄の直流及び交流電車のための検修工場建設計画にかかる F/S を実施するものであり、昭和61年度は最終報告書を作成・提出した。 | アルゼンティン国鉄 |
| | ヤシレタダム隣接地域農業総合開発計画 | 開134 | アルゼンティン ヤシレタダムの水源を利用し、ダムに隣接したコリエンテス州内約40万 ha を対象に、かんがい開発を主体とした農業開発の促進を目的とし、農業基盤整備、営農改善、牧畜振興、農業支援活動及び農村社会基盤整備等の各種農業関連計画を総合的に検討し、当該地域の農業開発の基本方針となる M/P を策定するもので、昭和61年度は、事前調査の実施、及び第1次現地調査を実施し、基礎的資料、情報の収集を行った。 | コリエンテス州政府 |
| | 経済開発計画 | 開海1 | アルゼンティンが経済停滞打開に向け進めている輸出指向の積極的経済調整策の政策手段策定に資するための基礎的資料を策定する。 昭和61年度は、昭和60年度に実施した現状分析に基づき、アルゼンティンの経済発展の活性化策を、日本の経験の適用可能性を探りつつ提言するとともに、アジア諸国への輸出に重点を置いたアルゼンティンの輸出振興策を策定し、ドラフトファイナルレポートとして取りまとめ、11月、現地においてセミナーを開催し説明、アルゼンティン政府のコメントを受けたあと、ファイナルレポートを作成した。 | 企画庁 |
| | 工場省エネルギー計画 | 海3 | アルゼンティンにおける工業分野、特に中小企業における工場のエネルギー使用の概況、及びその省エネルギー（熱及び電気）の可能性を調査する。 昭和61年度は、昭和62年3月に事前調査を行い、S/W の署名を行った。 | 国立工業技術院（INT） |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|---------|---------------------|---------|---|------------------------|
| アルゼンティン | ネウケン州北部地熱開発計画 | 海3 | ネウケン州北部地域のローカルエネルギー源の確立のために、地熱エネルギーを開発することを目的とする。 昭和61年度は、事前調査を行い、今後の協力対象として、コパウエ地域を選定した。 | ネウケン州政府、 国家エネルギー庁 |
| | アルトデラブレング地域資源開発調査 | 資8 | 本調査は、アルトデラブレング地域において金・銀等の鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は地質調査・地化学探査(350km ²)、物理探査(CSAMT法:80km ²)、ボーリング調査(6孔:570m)を実施し、ファラジョンネグロ鉱床下部に厚さ8m、金5~6g/t、銀100~300g/tの金銀脈を捕捉するとともに、金銀モリブデン地化学異常帯とそれに重なる変質帯を検出した。 | 経済省 鉱山庁 |
| ボリヴィア | サンボルハ〜トリニダ道路改良計画 | 開4 | サンボルハ〜トリニダ間の道路改良にかかるF/S及び予備設計を実施するものであり、昭和61年度は、昭和60年度に引き続き現地本格調査を実施し、最終報告書(案)の作成・提出を行った。 | 運輸通信省 |
| | エル・アルト国際空港近代化計画 | 開134 | 空港の運用開始から20年が経過し、施設規模、機能ともに今日の航空需要及び航空機のジェット化、大型化に対応できないエル・アルト空港の整備改善にかかるM/P、F/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査を実施し、現地本格調査を開始した。 | 運輸通信省 |
| | ラパス市エル・アルト地区地下水開発計画 | 開34 | ラパス市の郊外エル・アルト地区への給水を目的として地下水についての開発計画を行う。昭和61年度は事前調査が行われ、S/Wが締結され、本格調査が開始された。電気探査、地下水位観測などが実施されプログレス・レポートが提出された。 | ラパス市 水道公社 |
| | サンアントニオ地域開発調査 | 資8 | サンアントニオ地域資源開発調査(1982~1984年)及びフォローアップ調査(1985年)により鉱床評価がなされた銀・鉛・亜鉛鉱山について、鉱山開発計画とインフラストラクチャー整備計画の立案及びそれらの経済評価による鉱山開発の可能性を検討した。 | 鉱山冶金省 ボリヴィア 鉱山公社 |
| ブラジル | イタジャイ河流域治水計画 | 開14 | サンタ・カタリーナ州イタジャイ河流域全体の治水基本構想を勧案しつつ、特に洪水被害多発地帯である下流域における治水計画(M/P策定とF/S)を策定する。昭和61年度はインセプション、プログレス(1)、インテリムレポートを作成した。 | 公共事業局 (DENOS) |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|------|----------------------|-------------|--|---------------------------|
| ブラジル | パルメイロポリス地域資源開発計画 | 資 8 | <p>本調査は、パルメイロポリス地域内に存在する塊状ないし層状の銅・鉛・亜鉛鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。</p> <p>昭和61年度は既存データコンパイル（2750km²）、地質調査・地化学探査（3050km²）、物理探査（CSAMT法：100km²、SIP法：5km）を実施し、パルメイロポリス鉱床深部の状況を把握するとともに、リオ・ドイス・フンボにパルメイロポリス鉱床と類似の鉱化作用を確認した。</p> | 鉱山動力省 鉱産局 |
| チ | バルパライソ港、サンアントニオ港整備計画 | 開 1 4 | <p>地震により被害を受けたバルパライソ港の復旧計画及びM/Pを作成するとともに、同港と共通の背後圏を有するサンアントニオ港のM/Pの作成を行うものであり、昭和61年度は、最終報告書を作成・提出した。</p> | 港湾修復委員会 |
| | トロロ・パンパ地下水農業開発計画 | 開 4 | <p>チリ第3州の第2番目の都市であるヴァジェナル市に隣接する半乾燥地域におけるトロロ・パンパ周辺平野部（約3万3000ha）のうち、地下水利用による営農活動の有望とみられる地域を対象として、農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、本格調査を実施し、主に、地下水調査、土壌調査を行った。</p> | 第3州政府 （アタカマ州） |
| | マポーチョ川流域農業開発計画 | 開 4 | <p>チリ サンチャゴ市周辺マポーチョ川流域約5万haを対象とし、かんがい、排水施設の整備、農業用水の水質汚染防止対策、塩害、アルカリ土壌の改良等を行い、農業生産性の向上及び生産物の質的向上を図ることを目的とした農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、ドラフトファイナルレポートに対する同国側のコメントを検討し、ファイナルレポートを作成・送付した。</p> | 農業省 |
| リ | コデルコ社工場近代化計画 | 海 4 | <p>コデルコ社（銅会社）のエルテニエンテ部門に存する鑄造及び製缶工場に対し、工場診断を実施し、その結果に基づき、近代化計画を策定する。</p> <p>昭和61年度は昭和60年度において署名したS/Wに基づき、現地本格調査を実施し、国内解析作業を通じ、最終報告書の作成・提出をした。</p> | コデルコ社 ODEPLAN （企画庁） |
| | アントファガスタ南部地域資源開発調査 | 資 8 | <p>アントファガスタ南部地域において、銅・金・銀その他多金属から成る脈状鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。</p> <p>昭和61年度は地質調査・地化学探査（220km²）及びボーリング調査（10孔：1000m）を実施し、含銀・鉛・亜鉛鉱脈群と、断層帯に賦存する高品位銀鉱床の存在を確認した。</p> | 鉱業省鉱業地質局 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|--------|-------------------|---------|---|----------------------|
| コロンビア | バランキージャ市中心地区再開発計画 | 開4 | バランキージャ市の都市部中心地区の再開発に関するF/Sを実施するものであり、昭和61年度は昭和60年度に締結したS/Wに基づき、現地本格調査を実施した。 | 国家経済企画庁及びバランキージャ市計画局 |
| | 傾斜地小規模かんがい計画 | 開4 | コロンビア政府が推進する傾斜地小規模かんがい計画の対象地区のうち、開発ポテンシャルが高く、デモンストレーション効果の高いクンディナマルカ県（カケサ、ティドクイ）及びボヤカ県（サンタソフィア、サンペドロデイグアケ）の4地区について、かんがいを主体とした農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、第1次の現地調査を踏まえ、国内解析とF/Sレポートを作成した。 | 水文気象土地改良庁 |
| | キンディオ盆地農業総合開発計画 | 開134 | コロンビア キンディオ盆地約20万haを対象に、農業総合開発計画を策定するもので、昭和61年度は、事前調査を実施し、現地踏査を行うとともに、同国政府と協議のうえ、S/Wを締結した。更にはその結果を踏まえ、本格調査を実施し、土地利用図の作成を行った。 | 計画省 キンディオ開発庁 |
| | トリマ県北部農業復興計画 | 開3 | コロンビア トリマ県北部マリキータ〜オンダ間約1万haを対象に、現地調査及び国内解析を実施し、農業復興計画並びに農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は事前調査を実施し、現地踏査を行うとともに同国政府と協議のうえ、S/Wを締結した。 | 土地水文改良庁 |
| | アトラート河水力発電開発計画 | 海14 | アトラート河上流の6カ所のダム・サイト候補地を含む地域のM/Pを作成するとともに、候補地のうち最有望地点についてF/Sを行う計画である。昭和61年度は、最終報告書（案）の現地説明を実施したあと、コロンビア側に最終報告書を提出した。 | 電力庁 (ICEL) |
| | アルマゲール地域資源開発調査 | 資8 | アルマゲール地域において、ボーフィリー・カッパー型銅鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は昭和60年度認められた物理探査異常域に対して物理探査（IP法：12km）及びボーリング調査（5孔：1750m）を実施した。 | 鉱山エネルギー省 鉱山地質調査所 |
| コスタ・リカ | カルデラ港整備計画 | 開4 | 本調査は、カルデラ港内の漂砂問題を解決するため、必要な調査を実施し、同港に適した漂砂対策施策を作成するものであり、昭和61年度は最終報告書を作成・提出した。 | 公共事業・交通省 |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査 算区 内容 区分 分類 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|---------|---------------------|-----------------------------|--|------------|
| コスタ・リカ | 太平洋沿岸水産資源調査 | 開10 | コスタ・リカ北西部太平洋沿岸域の大陸棚とその斜面及び近隣の堆における有用底魚資源の分布状況及び資源量推定調査、あわせてこれら有用底魚資源の合理的利用を考慮した漁民活動、流通機構の強化、漁港インフラ整備等に関する漁業開発、M/P調査を実施するもので、昭和61年度は、事前調査を実施、同国関係者と協議し、S/Wを締結した。更に海上本格調査を行うための予備調査及び漁業開発計画策定のための陸上調査を行った。 | 農牧省水産資源局 |
| | リモン地区農業総合開発計画 | 開134 | コスタ・リカ リモン地区6万4000haを対象とし、農業排水、農地復旧、農地開発、洪水防御、それに伴うインフラストラクチャーの整備を盛り込んだ農村総合開発計画のM/Pを策定、更にそのM/Pにより選定されたモデル地区においてF/Sを実施するもので、昭和61年度は、事前調査を実施、更に、現地調査を実施し、対象地区航空写真(1/20000)を撮影した。 | かんがい排水地下水利 |
| ドミニカ共和国 | サンペドロ・デ・マコリス港開発計画 | 開14 | サンペドロ・デ・マコリス港の土地利用計画等を含めた同港の長期開発計画の策定を行うとともに、老朽施設の短期改修計画についてF/Sを行うものであり、昭和61年度は、現地本格調査を実施した。 | 公共事業通信省 |
| | アグアカテ・グアジャボ地域農業開発計画 | 開4 | ドミニカ共和国アグアカテ・グアジャボ地域の農業開発を推進し、農民の入植及び定着を図り、米を中心とした食糧の増産及び雇用の拡大を図ることを目的として、エル・アグアカテ地域8660ha及びグアジャボ地域1万3200haを対象に、農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、最終年度として、ドラフトファイナルレポートの協議及びファイナルレポートの作成を行った。 | 農地庁 |
| | 資源開発調査フォローアップ調査 | 資11 | 1983年度から1985年度にかけて実施したラスカニータス地域資源開発調査の結果に基づき、商工省鉱山総局が実施するボーリング調査に対する技術支援として2人の技術者を派遣し、技術移転を行った。 | 商工省鉱山総局 |
| エクアドル | グアヤキル市都市交通計画 | 開4 | 昭和58年8月に作成されたM/Pに基づき、そのなかで優先度の高い大量高速輸送機関（都市鉄道）南北線のF/Sを実施するものであり、昭和61年度は、最終報告書を作成・提出した。 | グアヤス州交通委員会 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分類 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------|----------------|----------|--|-------------------|
| エクアドル | 北東部林業資源調査 | 開10 | エクアドル ノルオリエンテ地区の100万 ha を調査対象地域とし、航空写真の撮影、林相図の作成等を行い、また、重点地域10万 ha について森林資源の調査及び森林施業、開発計画基準の策定を行うもので、昭和61年度は、調査対象地域100万 ha についての航空写真 (1/20000) を撮影し、集成写真図及び林相図を作成した。また、重点地域10万 ha についての森林資源調査を実施し、基本図 (1/20000) の作成、林相状況の分析、蓄積推定等を行った。 | 農 牧 省 |
| | チェスピ水力発電開発計画 | 海4 | 本計画は、最大需要地(キトー市)に近接して100MW程度の発電を行おうというものであり、1992年の運転開始を構想している。 昭和61年度は、国内作業(電力需要分析、最適発電開発計画の検討及び選定、財務・経済分析等)を行い、その結果を最終報告書として取りまとめ、昭和61年7月に現地説明を実施し、エクアドル側に同報告書を提出した。 | エクアドル電力庁 (INECEL) |
| グアテマラ | グアテマラ市地下水開発計画 | 開4 | グアテマラ市の生活用水確保のため、同市長期水供給計画により、「緊急計画Ⅰ」として指定された市中央部等80km ² を含むグアテマラ峡谷(800km ²)における地下水開発計画のF/Sを昭和60年度に引き続いて行った。 | 首都水道公社 |
| | サント・トーマス港近代化計画 | 開3 | 同国最大の規模を有するサント・トーマス港の航路・泊地・拡張及び岸壁延長等を含む近代化計画にかかるF/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査を実施した。 | 運輸・公共事業省 |
| | モンハスカンがい計画 | 開3 | グアテマラ南東部のハラパ県に属するモンハス地区において、同地区の7200haを対象に、国内向け食糧増産を目的として、既存農地を含めた農地整備、乾期の水資源確保、合理的な水配分方策及び新規換金作物の導入等にかかる農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、事前調査を実施し、要請内容の確認、関連資料の収集、本格調査のためのS/Wを締結した。 | 農牧省食料農牧計画部 |
| ジャマイカ | リオ・コブレ農業開発計画 | 開4 | ジャマイカの首都キングストンの西方約15kmに位置するスパニッシュタウンを中心部に有するリオ・コブレ川流域での約1万2000haの地域を対象とし、既存の水利施設の改修により用水の安定化を図り、主要作物であるサトウキビの増収及び稲作、その他の換金作物の導入に基づく同地域の農業開発計画を策定するもので、昭和61年度は、ドラフトファイナルレポート説明、協議を踏まえ、ファイナルレポートを作成した。 | 農業省企画庁 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|------|-------------------|-------------|---|--------------------|
| メキシコ | ラサロカルデナス港船舶修繕整備計画 | 開 3 4 | メキシコ太平洋岸のラサロカルデナス港における大型船舶修繕ドック整備計画の策定を行うものである。昭和61年度は基礎調査を行い、プログレス・レポート（I）を作成し、提出した。 | メキシコ開発銀行（SOMEX） |
| | メキシコ市大気汚染対策調査 | 開 1 3 | メキシコ市における大気汚染の現状とその発生源にかかる調査を実施し、メキシコ首都連邦区の大気汚染対策に資する具体的対策を策定する。昭和61年度は事前調査及びインセプションレポート提出まで実施した。 | メキシコ首都連邦区都市環境保全局 |
| | ラ・プリマベラ地熱開発計画 | 海 4 | 西暦2000年までに年間600億 kWh の発電を行い、石油を年間1100万パーレル節約しようとする計画の一環として、グワダハラ市郊外のラ・プリマベラ地域における地熱発電の技術的開発可能性を検討し、あわせて、開発計画（規模）を策定することを目的とする。 昭和61年度は、現地にメキシコ側が掘削している調査井 PR-12 に対し地質コア調査及び地熱貯留層温度、圧力等のデータ収集を行うと同時に、昭和62年度に実施する調査井 PR-13 掘削に関し、現地契約業務の下準備を行った。 | メキシコ中央電力庁（CFE） |
| | ハリスコ地域資源開発調査 | 資 8 | ハリスコ地域において、異鉱型塊状硫化物鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は地化学異常域または低比抵抗分布域を対象として深部における鉱化状況及び地質構造との関係を把握するためにボーリング調査（6孔：1850m）を実施した。 | エネルギー・鉱山国営企業省鉱物資源局 |
| パナマ | パナマ運河代替案調査 | 開 3 | 本調査は、昭和60年9月26日署名された「パナマ運河代替案調査に関する外交取極め」に基づき、調査委員会のもと、日米パ三国により、共同して行うものである。 昭和61年度は、 ① 6月、第1回理事会にて調査委員会正式発足 FA/FR 調査（フィージビリティ分析/最終報告書作成）コンソーシアム公募 ② 12月、第2回理事会にて、プロポーザル招請コンソーシアム決定 ③ 昭和62年3月、第3回理事会にて、4月1日付をもって上記コンソーシアムに対し、プロポーザルを招請することを決定した。 | パナマ運河代替案調査委員会 |
| | パナマ市南部回廊開発計画 | 開 4 | パナマ市首都圏都市交通整備計画（M/P）に基づき、南部回廊開発計画にかかる F/S を実施するものであり、昭和61年度は現地本格調査を実施した。 | 公共事業省 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------|-------------------|---------|--|----------------------|
| パナマ | 石炭火力発電開発計画 | 海4 | <p>コロン県（テルファース・アイランドまたはバイヤ・ラス・ミナス）において、外国炭を燃料とした150MW程度の石炭火力発電所を建設する計画である。</p> <p>昭和61年度は、気象・海洋等に関する資料解析、港湾施設調査、地形測量、深淺測量、ボーリング及び発電所建設計画の策定を実施のうえ、最終報告書として取りまとめ、同報告書をパナマ電力公社に提出した。</p> | パナマ電力公社 (IRHE) |
| パラグアイ | アスンシオン首都圏都市交通整備計画 | 開1 | 西暦2000年を目指し、アスンシオン首都圏における都市交通整備にかかるM/Pを作成するものであり、昭和61年度は最終報告書を作成・提出した。 | アスンシオン市庁 |
| | アスンシオン市雨水排水施設整備計画 | 開14 | アスンシオン市における雨水排水施設整備計画にかかわるM/P策定調査及びそのなかでの優先事業についてのF/Sを実施する。昭和61年度はM/P策定調査を実施し、ファイナルレポートを作成し、提出した。 | 内務省上下水道公社 (NOPWASDO) |
| | イタプア県中部地域主要穀物増産計画 | 開1 | パラグアイ南部イタプア県中部地域、約48万haを対象とし、大豆、小麦、トウモロコシ、米等の主要穀物の増産と、小農地区の開発を目的とするM/Pを策定するもので、昭和61年度は、第1次調査の補完調査を実施した。 | 農牧省 |
| | イパカライ湖環境保全対策調査 | 開3 | 同国の重要な観光資源であり国民の憩いの場として親しまれているイパカライ湖の水質汚濁を改善するための対策計画を策定する。昭和61年度はコンタクト及び事前調査団を派遣した。 | 厚生省国家環境衛生局 (SENASA) |
| | 肥料プラント建設計画 | 海4 | イタプア発電所の豊富な電力を活用し、肥料の製造を行うプラントのF/Sを実施する。昭和61年度は昭和61年6月の現地調査、昭和62年2月のドラフトレポート説明を行った。 | 商工省 |
| ペルー | リマ国際空港整備計画 | 開14 | ペルーのリマ（ホルヘ・チャベス）国際空港のM/Pの作成及び短期整備計画のF/Sを実施するものであり、昭和61年度は最終報告書の作成・提出を行った。 | 航空総局 |
| | フニン県サティボ地区地図作成事業 | 開2 | ペルーの国土基本図作成に協力するためフニン県サティボ地区の地形図（1/100000、対象面積2万km ² ）の作成を行うものであり、昭和61年度は、国内作業を完了し、最終成果品を提出した。 | 国土地理院 |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------------|----------------------------------|--------------------------------|---|-------------------------------|
| ペルー | リマック川防災対策計画 コタウアシ地域資源開発計画 | 開 1 3 4 資 8 | 首都リマ市を貫流するリマック川の流域を対象とした洪水、土砂くずれ等による被害を防止するための防災対策のM/Pの作成及びF/Sを行うものであり、昭和61年度は事前調査を実施し、本格調査を開始し、プロGRESS・レポートを作成・提出した。 本調査はコタウアシ地域において鉱脈型の金・銀鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は地質調査・地化学探査（170km ² ）及びボーリング調査（10孔：1000m）を実施し、金・銀の地化学異常帯と重複する鉱化変質帯の広がりを把握するとともに、強珪化帯や石英脈を伴う低品位の鉱化帯を確認した。 | 国家防災委員会 動力鉱山省地質鉱物冶金研究所 |
| ウルグアイ | 造林・木材利用計画 | 開 1 | ウルグアイの既存の森林及び造林奨励地域について、自然的、社会的諸条件及び造林計画のM/P策定に関する調査を行うとともに、木材利用ガイドラインの策定を行うもので、昭和61年度は、林業に関連した資料収集のための現地調査を行い、それらの情報を国内で解析し、造林計画のM/Pを策定するとともに、木材利用のガイドラインを作成した。 | 農業水産省 |
| 中南米区分不能 | | | | |
| ペルー、アルゼンティン | 経済技術協力評価調査 | 開 11 | ペルー及びアルゼンティン両国の水産セクターにおけるわが国の経済技術協力案件3件について評価調査を行い、本セクターに共通の問題点、要改善点を整理し取りまとめた。 ① ペルー 水産加工センター 水産物利用開発計画 ② アルゼンティン 国立漁業学校 | ペルー：漁業省 アルゼンティン：海洋庁 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|---------------|-----------------------|---------|---|---|
| ブラジル、パナマ、メキシコ | 経済技術協力評価調査 | 開11 | <p>学識経験者等第三者（古野雅美共同通信論説委員）の参加を得て、ブラジル、パナマ、メキシコにおける経済技術協力案件6件について評価調査を行うとともに、派遣専門家との意見交換を行うことにより、広く3カ国に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言を取りまとめた。</p> <p>① ブラジル セラード農業開発、日伯農業研究</p> <p>② パナマ 国营教育テレビ放送計画 職業訓練センター</p> <p>③ メキシコ 家畜衛生センター 人口活動促進プロジェクト</p> | ブラジル：農務省 パナマ：外務省、経済企画政策省 メキシコ：外務省、国際技術協力局 他 |
| オセアニア | | | | |
| パプア・ニューギニア | 横断道路建設計画（ベレイナ〜マララウア間） | 開37 | Trans Island Highwayの一部であるベレイナ〜マララウア間約80kmの道路実施設計を実施するものであり、昭和61年度はコンタクトミッションを派遣した。 | 大蔵・計画省 公共事業省 |
| | プロジェクト形成基礎調査 | 開11 | 昭和61年2月、パプア・ニューギニアは援助受入政策の見直しを発表し、わが国のスキームによる経済技術協力の受入れを決定した。これを受け昭和61年4月に日／パプア・ニューギニア援助政策の協議が行われ、パプア・ニューギニア側より数件の開発調査の要望が提出された。今後の協力対象分野の選定を行い、あわせて個別案件についてT/Rの明確化のための調査を行った。 | 外務省、大蔵・計画省 |
| 西サモア | 全国港湾整備総合計画調査 | 開134 | 西サモアのピア港他4つの港湾を対象とするM/PとF/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査を実施し、現地本格調査を開始した。 | 運輸省 |
| オセアニア区分不能 | | | | |
| フィジー、トゥヴァル | 水産資源調査 | 開10 | フィジー、トゥヴァル両国の200カイリ水域内においてカツオを中心とする浮魚及び海山の底魚を主対象とする漁獲調査を数種の漁具を使用して実施することにより、新規有望漁場を開発し、かつ、経済的漁法を解明し、もって両国の漁業振興を図るための計画を策定するもので、昭和61年度は、フィジー、トゥヴァル両国水域において、底立縄、一本釣りによる漁獲調査を行い、またその調査結果を解析のうえ、ドラフトファイナルレポートを作成した。 | フィジー：水産局 トゥヴァル：水産局 |

第2章 技術協力事業（開発調査）

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|-------------------|--------------------------|---------|---|--|
| フィジー、西サモア | 南太平洋経済技術協力調査（プロジェクト選定確認） | 開11 | わが国の経済技術協力を効果的に実施するため、これまであまり協力の実績のなかったこれらの国々に対して、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、優良案件の発掘を行い、また先方政府との対話を通じて今後のわが国の協力の方向を探ることを目的とした調査を実施した。 | 当該国経済技術協力関係省庁 |
| フィジー、トンガ、西サモア | 経済技術協力評価調査 | 開11 | <p>学識経験者等第三者（鮫島敬治日本経済新聞編集局長）の参加を得て、フィジー、トンガ、西サモアにおける経済技術協力案件8件について評価調査を行うとともに、派遣専門家、青年海外協力隊員との意見交換を行うことにより、広く3カ国に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言を取りまとめた。</p> <p>① フィジー 稲作研究開発 看護学校建設 フィジー工科大学</p> <p>② トンガ 保護衛生検査所</p> <p>③ 西サモア 漁業振興計画 漁港整備計画 教育振興計画 診療所再建計画</p> | フィジー：保健省、第一次産業省、他 トンガ：保健省、他 西サモア：外務省 |
| クック諸島、トウヴァル | 南太平洋沿岸海域海洋資源調査 | 資8 | <p>南太平洋海域は、マンガン団塊賦存密度の高い海域として知られている。本調査は調査船第2白嶺丸を使用し、当該海域のマンガン団塊賦存状況を把握することを目的とする。</p> <p>昭和61年度は、5カ年計画のうち第2年次調査として、クック諸島海域において、サンプリング調査（180点）、音響探査（4187km）、海底観察調査（181km）を実施し、平均密度7.5kg/m³以上の海域であることを把握した。平均品位はニッケル0.24%、銅0.14%、コバルト0.47%である。</p> | 南太平洋沿岸鉱物資源共同探査調整委員会 |
| 世界区分不能 | | | | |
| ガバタ、イキア、ナ、マ、メ、シ、コ | 中南米地域等鉱工業プロジェクト選定確認調査 | 海3 | <p>中南米地域等に対するわが国の技術協力のうち、鉱工業関係の開発調査を効率的に実行するため、要請プロジェクトと今後要請の可能性のある案件について、その背景と経済開発計画における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定、確認を行うものである。</p> <p>昭和61年度は、左記6カ国について行った。</p> | 各政府関係機関 |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|------------------------------------|---|---------|---|--|
| ケニア、エジプト、タンザニア | 鉱工業プロジェクトフォローアップ調査 | 海11 | <p>鉱工業関係開発調査において当事業団発足（昭和49年8月）以降の案件であり、かつ調査が終了したものについて、①調査報告書の活用状況を追跡調査し、②今後の当事業団の調査能力の改善・向上に資すること等を目的とし、昭和56年度より調査を行っている。</p> <p>昭和61年度は、昭和60年度実施したケニア、タンザニアにおける現地調査の結果を報告書に取りまとめるとともに、エジプト、オマーンにおいて現地調査を行った。</p> | 各政府関係機関 |
| モロッコ、ケニア | 資源開発調査フォローアップ調査 | 資11 | <p>資源開発調査の終了した国を対象に、調査終了後の相手国のフォローアップ状況、成果に関する情報等について相手国並びに、わが国の在外関係機関等と意見を交換し、今後の協力調査に反映させることが目的である。</p> <p>昭和61年度は、モロッコ、ケニア及びタイの3カ国において上記調査を実施した。</p> | 各政府関係機関 |
| マリ、マラウイ、ニジェール、メキシコ、ニューギニア、ボリヴィア、中国 | 資源開発調査プロジェクト選定調査 | 資3 | <p>金属鉱物資源開発を進めようとしている、あるいは進めるために協力要請がある開発途上国に対し、要請内容、受入体制、地質鉱床概況、既調査内容等の資源開発調査実施に関する諸条件を調査するものである。</p> <p>昭和61年度は、マリ、マラウイ、ニジェール、パプア・ニューギニア、メキシコ、ボリヴィア及び中国の7カ国において、上記調査を実施した。</p> | 各政府関係機関 |
| そ の 他 | | | | |
| | フィリピン国別援助研究 | 開 | <p>援助受入国の真の開発ニーズに沿った効果的かつ効率的な協力を実施するためにフィリピン援助研究会を設置し、広く外部の専門家、有識者等の参加を得て各種情報の収集、整備及び分析を行い、それに基づくフィリピンの援助計画（援助の取り組み方）を作成した。</p> | |
| | 先進国援助機関・国際機関における開発調査実施方法に関する調査 ☆アメリカ、カナダ、フランス、スウェーデン、オランダ、西独、英国、イタリア | 開 | <p>主要援助国、国際機関における開発調査の手法を調査、比較することにより、当事業団の開発調査の改善の一助とするため、これら機関の①開発援助の実施体制、②プロジェクトの発掘、③開発調査の取り組み方、④コンサルタントの活用等につき調査を実施した。</p> | AID, IBRD, CIDA, CCCE, SIDA, FMO, NEDECO, BMZ, KfW, GTZ, ODA, IDS, FAO |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分類 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|----|--|----------|---|------------|
| | 経済技術協力国別資料作成調査（援助地図） （援助地図） ドミニカ共和国、コスタ・リカ、西サモア、シリア、チュニジア、エチオピア、リベリア、マダガスカル （地域開発適地判断地図） ケニア、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ、ナイジェリア | 開 | わが国の経済技術協力をより効果的、効率的に実施するため、国際機関及び第三国の援助機関の援助の動向及び内容を調査分析し、今後の当事業団の新しい協力分野、援助形態を策定するための基礎資料を8カ国分作成した。また附属資料として、アフリカ5カ国分の自然的社会的条件資料を整理し、地域開発適地判断地図を作成した。 | 現地調査なし |
| | 開発途上国技術情報整備 （開発調査等の業務にかかる情報システム調査研究） | 開 | 当事業団をはじめ、各関係機関に蓄積されている開発途上国の技術情報等を体系的に整備し、事業団職員、調査団員、専門家等に迅速に必要な情報を提供できる「情報システム」を確立するため、①開発途上国の技術情報を光ディスクを活用して整備するためのシステムの計画と設計、②公共公益事業を対象分野とし、30カ国を対象に技術情報の収集、加工、整備、入力を実施した。 | |
| | 調査団収集資料等整備事業 | 開海 | ①開発調査事業及び海外開発計画調査事業の実施に伴い収集した各地域の国別基本資料、プロジェクト分野に関する資料について収集資料の分析、情報価値を基準とする選別の実施、②前記資料に関し資料内容要約の作成、重要資料の関連機関への情報提供のためのマイクロフィルム等の作成、③資料の整理、保管、目録の編さん等の作業、国別分野別収集、資料目録の作成、配布等のサービスの実施、④当該調査団、関連調査団に対する情報の複写サービス等の附帯作業に関連する業務の提供。 | |

| 国名 | プロジェクト名 | 予調査内容区分類 | 事業概要 | 相手国の調査団受入先 |
|----|--|----------|---|------------|
| | 鉱工業関係 財務経済分析 基本ガイドライン策定調査 (水力発電編) | 海 | 本計画は、当事業団のフィージビリティ・レポート（以下 F/R）及び一般出版物等により財務・経済分析について研究するとともに、当事業団の F/R を利用する立場及び学術的立場に立つ人々から広く意見を聴取し、これらを取りまとめ鉱工業計画調査部における財務・経済分析の基本的ガイドラインを策定することを目的とする。 昭和61年度は報告書を印刷した。 | |
| | 鉱工業関係 財務経済分析 基本ガイドライン策定調査 (工業編) | 海 | 本計画は、当事業団のフィージビリティ・レポート（以下 F/R）及び一般出版物等により財務・経済分析について研究するとともに、当事業団の F/R を利用する立場及び学術的立場に立つ人々から広く意見を聴取し、これらを取りまとめ鉱工業計画調査部における財務・経済分析の基本的ガイドラインを策定することを目的とする。 昭和61年度は報告書に取りまとめ、印刷した。 | |
| | 調査事業の計画策定管理のための附帯業務 | 海 | 海外開発計画調査事業のプロジェクトの大型化、詳細化や年々多様化する協力要請に対応するため、要請国のみならず、周辺関係諸国の実情等の情報を有識者等から幅広く収集し、調査計画の策定を行うものである。 昭和61年度は、①各種資料の印刷、②計画策定・諸手続き事務合理化のための複写機の維持管理・消耗品の購入、③海外における調査事業円滑化のために、海外事務所における相手国政府関係機関との調整、報告書の引き取り等を行った。 | |

第3 開発調査事業の推移

わが国における政府開発調査事業は、昭和35年度に外務省の予算に国際技術調査費が計上され、その事業の実施を国際建設技術協会に委託し、二国間方式によって、主として建設、運輸、農業等の分野の開発計画に関する調査の実施を行ったことに始まる。その後、メコン河開発調査事業がメコン河総合開発調査会に委託され、更に海外技術協力事業団設立により、前記2事業は同事業団に引き継がれ、外務省予算による投資前基礎調査費（メコン河開発調査費を含む）及び通商産業省予算による海外開発計画調査費が計上され本格的に開発調査事業が行われることとなった。

ついで昭和43年度以降、外務省予算による経済開発総合基礎調査等委託費（実施設計）が計上され、開発事業の施設建設のための詳細設計、及び入札書類の作成を行う実施設計をも協力の対象とすることとなった。昭和45年度までにはマラッカ海峡調査委託費及び海外開発計画事業の一環としての資源開発協力基礎調査委託費が、昭和46年度にはプロジェクト研究費が加わった。昭和48年度にはバングラデシュ・ジャムナ河橋梁特別調査費が新たに計上されるとともに、投資前基礎調査費及び経済開発総合基礎調査等事業費（実施設計）が一本化されて開発調査費となった。昭和60年度にはパナマ運河代替案調査協力費が新たに計上された。

昭和37年度からの開発調査事業の推移は表1、2、附表に示されるとおりである。

このように昭和61年度までの25年間に開発調査事業は年々拡大の一途をたどり、予算面からみると、当初1億7475万円であったものが、昭和61年度には212億6100万円と飛躍的に増大し、それに伴い調査の内容も質的に強化され、また規模も拡大して種類も多様化してきた。

昭和37年度から昭和61年度までの調査団派遣実績は表2に示すとおりであり、調査団派遣総数3424件となる。国別にみると、インドネシア478件、フィリピン329件、タイ313件、マレーシア144件、中国151件等が上位を占めている。地域別ではアジア地域が1954件（全体の57.0%）と圧倒的に多いが、ここ数年の傾向をみると中近東地域、中南米地域に対する調査団の派遣が増加している。

表1 開発調査事業・予算の推移(当初予算)

(単位:百万円)

| 年度 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 1.開発調査費 | 129 | 145 | 145 | 155 | 274 | 195 | 319 | 313 | 447 | 619 | 896 | 1,321 | 2,318 | 2,856 | 4,081 | 5,519 | 6,683 | 8,617 | 10,285 | 11,542 | 12,308 | 13,190 | 13,958 | 13,450 | 14,388 | |
| (1)調査団派遣に必要な経費 | 129 | 145 | 145 | 155 | 274 | 195 | 219 | 248 | 297 | 462 | 737 | 1,047 | 1,377 | 2,085 | 3,474 | 4,279 | 5,277 | 6,304 | 7,412 | 8,296 | 8,882 | 9,432 | 9,847 | 10,488 | 11,132 | |
| ①事前調査 | | | | | | | | | 3 | 26 | 31 | 30 | 52 | 72 | 74 | 71 | 82 | 118 | 178 | 207 | 228 | 249 | 264 | 287 | 310 | |
| ②総合開発計画調査 | | | | | | | | | | | | | | 36 | 41 | | | | | | | | | | | |
| ③実地調査 | | | | | | | | 291 | 381 | 470 | 557 | 851 | 1,273 | 2,194 | 2,810 | 3,395 | 4,026 | 4,736 | 5,321 | 5,787 | 6,154 | 6,266 | 6,453 | 6,764 | | |
| ④長期調査 | | | | | | | | | | 53 | 116 | 110 | 117 | 107 | 134 | 176 | 213 | 335 | 396 | 398 | 410 | 410 | 418 | 419 | | |
| ⑤アフターケア調査 | | | | | | | | 3 | 11 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13 | 12 | 14 | 15 | 20 | 21 | 21 | 21 | 21 | 22 | 22 | | |
| ⑥地形図作成調査 | | | | | | | | | 44 | 171 | 332 | 352 | 382 | 609 | 569 | 543 | 555 | 573 | 588 | 580 | 590 | 708 | 837 | 967 | | |
| ⑦農林水産業開発調査 | | | | | | | | | | | | | | 192 | 436 | 683 | 1,067 | 1,377 | 1,570 | 1,763 | 1,868 | 2,008 | 2,178 | 2,471 | 2,650 | |
| 事前調査 | | | | | | | | | | | | | | 9 | 7 | 17 | 30 | 47 | 74 | 110 | 130 | 134 | 155 | 176 | 199 | |
| 実施調査 | | | | | | | | | | | | | | 183 | 244 | 364 | 580 | 816 | 934 | 1,068 | 1,228 | 1,359 | 1,513 | 1,509 | 1,541 | |
| 長期調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 43 | 43 | |
| 実証調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 82 | 228 | |
| 林業資源調査 | | | | | | | | | | | | | | | 50 | 76 | 119 | 122 | 130 | 140 | 145 | 148 | 148 | 299 | 301 | |
| 水産資源調査 | | | | | | | | | | | | | | | | 135 | 226 | 338 | 392 | 432 | 445 | 365 | 368 | 360 | 338 | |
| (陸上) | | | | | | | | | | | | | | | | (10) | (10) | (13) | (16) | (16) | (18) | (18) | (18) | (19) | (19) | |
| (沿岸) | | | | | | | | | | | | | | | | (18) | (17) | (58) | (61) | (64) | (65) | (66) | (67) | (67) | (68) | (69) |
| (海上) | | | | | | | | | | | | | | | | (107) | (199) | (267) | (315) | (352) | (362) | (281) | (283) | (275) | (275) | (250) |
| (2)プロジェクト研究費 | | | | | | | | | | 7 | 9 | 10 | 10 | 15 | 23 | 21 | 28 | 31 | 33 | 34 | 32 | 32 | 39 | 40 | 41 | |
| (3)実施設計費 | | | | | | 100 | 65 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 460 | 460 | 391 | 360 | 341 | 513 | 600 | 635 | 604 | 643 | 643 | 664 | 681 | |
| (4)特別案件調査費 | | | | | | | | | | | | | 184 | 92 | 156 | 372 | 547 | 814 | 1,027 | 1,163 | 1,311 | 1,404 | 1,494 | | | |
| (5)地下水開発調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 431 | 722 | 893 | 897 | 1,046 | 1,044 | 1,189 | 1,196 | |
| (6)大規模プロジェクト調査 | | | | | | | | | | | | | | | | 431 | 422 | 450 | 491 | 521 | 503 | 527 | 685 | 705 | 749 | |
| (7)援助効率促進基礎調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 79 | 106 | 206 | 254 | 412 | |
| (8)所屬先給与補填経費 | | | | | | | | | | | | 14 | 11 | 20 | 37 | 56 | 68 | 74 | | | | | | | | |
| (9)バン格拉ンジュ・シナムナ河室橋特別調査費 | | | | | | | | | | | | 100 | 276 | 184 | | | | | | | | | | | | |
| (10)オオホ運河代官調査協力費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 110 | 172 | |
| (11)技術移転促進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | |
| 2.海外開発計画調査事業費 | 45 | 65 | 65 | 75 | 80 | 95 | 88 | 118 | 303 | 475 | 732 | 1,030 | 1,416 | 2,164 | 2,657 | 3,117 | 3,547 | 4,039 | 4,742 | 5,290 | 5,808 | 6,135 | 6,319 | 6,744 | 6,873 | |
| (1)海外開発計画調査 | 45 | 65 | 65 | 75 | 80 | 95 | 88 | 118 | 138 | 138 | 223 | 351 | 557 | 955 | 1,434 | 1,709 | 2,072 | 2,479 | 3,017 | 3,410 | 3,701 | 3,893 | 4,023 | 4,207 | 4,260 | |
| (2)資源開発基礎調査 | | | | | | | | 165 | 337 | 509 | 679 | 859 | 1,209 | 1,223 | 1,408 | 1,475 | 1,560 | 1,725 | 1,880 | 2,107 | 2,242 | 2,296 | 2,537 | 2,613 | | |
| 合 計 | 174 | 210 | 210 | 230 | 354 | 290 | 407 | 431 | 750 | 1,094 | 1,628 | 2,351 | 3,734 | 5,020 | 6,738 | 8,636 | 10,230 | 12,656 | 15,027 | 16,832 | 18,116 | 19,325 | 20,277 | 20,194 | 21,261 | |

表2 開発調査事業・調査団派遣実績一覧表

（昭和37年～昭和61年度調査団現地派遣件数）

| 区分 | 年度 | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外務省予算 | 14 | 12 | 12 | 12 | 15 | 13 | 17 | 18 | 20 | 27 | 36 | 40 | 40 | 48 | 78 | 106 | 138 | 177 | 163 | 214 | 216 | 224 | 263 | 199 | 209 | 2,311 | |
| 1. 事前調査 | | | | | | | | | 1 | 9 | 13 | 11 | 10 | 15 | 10 | 21 | 50 | 30 | 27 | 43 | 55 | 57 | 35 | 44 | 38 | 469 | |
| 2. 総合開発計画調査 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 3 | | | | | | | | | | | 5 |
| 3. 実施調査 | 14 | 12 | 12 | 12 | 15 | 13 | 13 | 16 | 15 | 14 | 17 | 19 | 19 | 17 | 25 | 27 | 31 | 53 | 34 | 52 | 46 | 53 | 63 | 59 | 69 | 720 | |
| 4. 長期調査 | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 5 | 4 | 4 | 4 | 2 | | 35 | |
| 5. アフターケア調査 | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | | | | | 2 | 25 | |
| 6. 地形図作成調査 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 2 | 3 | 4 | 5 | 3 | 5 | 53 | |
| 7. 農林業開発調査 | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 24 | 26 | 23 | 36 | 42 | 48 | 42 | 49 | 41 | 46 | 56 | 440 |
| （事前調査） | | | | | | | | | | | | | | | (12) | (7) | (6) | (10) | (20) | (14) | (17) | (17) | (16) | (20) | (26) | (165) | |
| （実施調査） | | | | | | | | | | | | | | | (7) | (6) | (13) | (12) | (19) | (14) | (27) | (19) | (26) | (23) | (24) | (26) | (216) |
| （長期調査） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (1) | (1) | | | | | | | (2) |
| （林業資源調査） | | | | | | | | | | | | | | | (1) | (2) | (1) | (3) | (4) | (5) | (3) | (3) | (1) | (1) | (1) | (1) | (25) |
| （水産資源調査） | | | | | | | | | | | | | | | (5) | (4) | (4) | (3) | (3) | (2) | (3) | (3) | (1) | (1) | (2) | | (31) |
| （実証調査） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (1) | (1) | (1) |
| 8. 実施設計調査 | | | | | | | 4 | 2 | 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 39 | |
| *9. 特別案件調査 | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | 7 | 12 | 19 | 36 | 46 | 57 | 49 | 46 | 78 | 6 | | 360 | |
| 10. 地下水開発調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 5 | 6 | 6 | 22 | |
| 11. 大規模開発プロジェクト調査 | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 6 | 7 | 2 | 3 | 2 | 4 | 6 | 8 | 4 | 51 | |
| 12. 援助効率促進基礎調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 | 5 | 24 | 23 | 26 | 90 | |
| 13. パナマ運河代替案調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | |
| 通商産業省予算 | 4 | 9 | 8 | 7 | 6 | 8 | 8 | 8 | 11 | 11 | 15 | 18 | 26 | 33 | 35 | 61 | 75 | 86 | 97 | 92 | 78 | 105 | 112 | 96 | 107 | 1,116 | |
| 1. 海外開発 | 4 | 9 | 8 | 7 | 6 | 8 | 8 | 8 | 10 | 8 | 10 | 12 | 18 | 24 | 24 | 46 | 62 | 68 | 78 | 75 | 63 | 83 | 91 | 74 | 83 | 887 | |
| 2. 資源開発 | | | | | | | | | 1 | 3 | 5 | 6 | 8 | 9 | 11 | 15 | 13 | 18 | 19 | 17 | 15 | 22 | 21 | 22 | 24 | 229 | |
| その他 | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| 合計 | 19 | 21 | 20 | 19 | 22 | 21 | 25 | 26 | 31 | 38 | 52 | 58 | 66 | 81 | 113 | 167 | 213 | 263 | 260 | 306 | 294 | 329 | 375 | 295 | 316 | 3,430 | |

※ 特別案件調査（無償資金協力基本設計調査）は、昭和60年度より、開発調査から無償資金協力事業に組み替えとなり、案件の説明等は第4章無償資金協力事業のなかで行う。

附表 国 別 内 訳

(単位：件)

| 年度 地域・国名 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 合計 | |
|-------------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | アジア地域 | 13 | 10 | 11 | 13 | 15 | 17 | 18 | 20 | 24 | 22 | 32 | 37 | 31 | 43 | 54 | 90 | 123 | 135 | 140 | 179 | 173 | 182 | 219 | 169 | 184 | 1,954 |
| バングラデシュ | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 6 | 8 | 3 | 5 | 6 | 5 | 6 | 4 | 4 | 60 | |
| ブータン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 | |
| ブルネイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 4 | 1 | 1 | 9 | |
| ビルマ | 2 | | | | | | | | | 1 | 1 | 3 | 2 | 4 | 2 | 3 | 6 | 6 | 2 | 6 | 7 | 5 | 8 | 5 | 3 | 66 | |
| カンボディア | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 4 | 5 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 21 | |
| 中国 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 4 | 7 | 8 | 9 | 20 | 33 | 31 | 38 | 151 | |
| インド | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 5 | 9 | |
| インドネシア | 1 | 1 | 1 | | 2 | 1 | 2 | 2 | 7 | 9 | 13 | 14 | 9 | 19 | 15 | 27 | 32 | 40 | 40 | 46 | 35 | 42 | 55 | 35 | 30 | 478 | |
| 韓国 | | | | 1 | 1 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 26 | |
| ラオス | | | | 1 | 3 | 2 | 3 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | | | | 16 | |
| マレーシア | 1 | | | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | | | | | | 5 | 5 | 10 | 12 | 13 | 16 | 15 | 12 | 16 | 13 | 14 | 144 | |
| モルディヴ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | 4 | |
| ネパール | 1 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | | 3 | 4 | 1 | 5 | 3 | 5 | 6 | 7 | 5 | 6 | 49 | |
| パキスタン | | 1 | 4 | 2 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 6 | 8 | 11 | 5 | 5 | 7 | 5 | 8 | 87 | |
| フィリピン | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 7 | 8 | 9 | 12 | 21 | 21 | 24 | 29 | 33 | 37 | 30 | 29 | 27 | 29 | 329 | |
| シンガポール | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | 2 | 1 | 2 | 5 | 3 | 3 | 2 | 21 | |
| スリ・ランカ | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 3 | 4 | 5 | 5 | 3 | 6 | 7 | 3 | 9 | 5 | 2 | 55 |
| タイ | 3 | | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 7 | 2 | 4 | 4 | 7 | 11 | 21 | 22 | 22 | 37 | 34 | 36 | 32 | 23 | 30 | 313 | |
| ヴィエトナム | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | 13 | |
| 台湾 | | | 1 | 1 | | 2 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | |
| 2カ国以上 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | 4 | 6 | 9 | 4 | 5 | 4 | 5 | 5 | 10 | 10 | 12 | 91 | |
| 中近東地域 | 1 | 2 | 4 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 3 | 3 | 5 | 8 | 13 | 22 | 30 | 33 | 23 | 30 | 31 | 34 | 38 | 30 | 22 | 340 | |
| アフガニスタン | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 5 |
| アルジェリア | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 3 | 5 | 2 | | | 13 | |
| エジプト | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 | 9 | 5 | 7 | 13 | 13 | 10 | 6 | 6 | 86 | |
| イラン | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 2 | 2 | 1 | | | | 2 | 3 | 1 | 1 | 17 | |
| イラク | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 11 | |
| ジョルダン | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | | | 1 | 3 | 2 | 18 | |
| レバノン | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| リビア | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| モロッコ | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | | 3 | 2 | 3 | 4 | 2 | | 24 | |
| オマーン | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 3 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 28 | |
| カタール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 | |
| サウディ・アラビア | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 3 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 4 | 1 | 1 | 1 | | 25 | |
| 南イエメン | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 | 3 | 6 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | 22 | |
| チュニジア | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | | | | 1 | 1 | 2 | 11 | |
| トルコ | | 1 | | | | | 2 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 4 | 4 | 3 | 33 | |
| アラブ首長国連邦 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 2 | 4 | 4 | 1 | 1 | | 1 | | 15 | |
| イエメン | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 4 | | 1 | 17 | |

第2章 技術協力事業（開発調査）

（単位：件）

| 年度 地域・国名 | 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | | 61 |
| 2カ国以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 3 | | | | 2 | 3 | 10 | |
| アフリカ地域 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 3 | 5 | 5 | 6 | 8 | 13 | 12 | 18 | 24 | 26 | 33 | 35 | 24 | 30 | 36 | 45 | 26 | 31 | 389 |
| ベナン | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| ボツワナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | 3 |
| ブルキナ・ファソ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| ブルンディ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| カメルーン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| カーボ・ヴェルデ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 中央アフリカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コモロ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 |
| ジブティ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| エチオピア | | | | | | 1 | 1 | 1 | | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 2 | 1 | | 14 |
| ガボン | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| ガンビア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| ガーナ | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | 2 | | | | | | | | | | 1 | | 6 |
| ギニア | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | | | 2 | | | | 12 |
| ギニア・ビサウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 象牙海岸 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 2 | 5 |
| ケニア | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 9 | 9 | 6 | 5 | 5 | 58 |
| リベリア | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | 8 |
| マダガスカル | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | | 1 | | | 1 | | 17 |
| マラウイ | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | | 3 |
| マリ | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | | 1 | | 11 |
| モーリタニア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 |
| モーリシャス | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | | | | | 6 |
| モザンビーク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| ニジェール | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 2 | | 13 |
| ナイジェリア | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 11 |
| ルワンダ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 |
| セネガル | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | | 3 | 2 | 15 |
| セイシェル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| シエラ・レオーネ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | 7 |
| ソマリア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | | | 3 |
| スワジランド | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 9 |
| タンザニア | | | | | | | 1 | 2 | 1 | | 1 | 4 | 3 | 4 | 2 | 4 | 5 | 1 | 4 | 1 | 6 | 4 | 3 | 4 | | 48 |
| トーゴ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウガンダ | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | 4 |
| ザンビア | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 3 | 1 | 2 | 17 |
| ジンバブエ | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 3 | 1 | 2 | 2 | 6 | 5 | 6 | 27 |
| 2カ国以上 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 3 | 6 | 1 | | 2 | 2 | 11 | 4 | 3 | 49 | |

(単位：件)

| 地域・国名 | 年 度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | | 58 | 59 | 60 | 61 |
| 中南米地域 | 5 | 6 | 5 | 4 | 5 | 2 | 3 | 2 | 2 | 6 | 10 | 9 | 15 | 17 | 21 | 27 | 28 | 53 | 54 | 55 | 49 | 67 | 62 | 59 | 63 | 629 |
| アルゼンティン | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 4 | 2 | 4 | 3 | 7 | 4 | 4 | 4 | 9 | 42 |
| ボリヴィア | 2 | 1 | | | | | | | | | | | 4 | 2 | 3 | 5 | 1 | 4 | 5 | 8 | 3 | 1 | 3 | 2 | 5 | 49 |
| ブラジル | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 2 | 4 | 2 | 2 | 3 | 2 | 39 |
| チリ | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | 4 | 4 | 5 | 4 | 2 | 4 | 3 | 7 | 5 | 44 |
| コロンビア | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | | | | 1 | 3 | 2 | 3 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 3 | 8 | 7 | 62 |
| コスタ・リカ | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 20 |
| ドミニカ共和国 | | 1 | 2 | | | | 1 | | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 5 | | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 36 |
| エクアドル | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | 3 | 3 | 4 | 6 | 3 | 3 | 3 | 29 |
| エル・サルヴァドル | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 3 |
| グアテマラ | | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 | 24 |
| ガイアナ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | 4 |
| ハイティ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| ホンデュラス | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 4 | 2 | 4 | 2 | 4 | 2 | 3 | 4 | | | 27 |
| ジャマイカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 2 | 1 | 6 |
| メキシコ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 2 | 1 | 4 | 8 | 4 | 5 | 7 | 5 | 5 | 5 | 5 | 50 |
| パナマ | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 26 |
| パラグアイ | | 2 | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 2 | 2 | 5 | 5 | 4 | 5 | 6 | 6 | 4 | 5 | 52 |
| ペルー | | 1 | 1 | | 1 | | | | 2 | 3 | 1 | 4 | 5 | 3 | 2 | 2 | 5 | 5 | 3 | 5 | 7 | 9 | 7 | 6 | 5 | 77 |
| トリニダード・トバゴ | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| ウルグアイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | 2 | 1 | 6 |
| ヴェネズエラ | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | 3 | 1 | 1 | | | | | | 9 |
| 2カ国以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | 1 | 2 | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 21 |
| オセアニア地域 | | | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 7 | 4 | 6 | 9 | 8 | 18 | 8 | 6 | 10 | 5 | 8 | 8 | 93 |
| フィジー | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | 12 |
| キリバス | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 8 |
| マーシャル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| ミクロネシア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | 3 |
| ニュー・ジラード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| パラオ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | | | 4 |
| パプア・ニューギニア | | | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 5 | 1 | | | | | | | | 1 | 2 | | 13 |
| ソロモン諸島 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | | | | | | 13 |
| トンガ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | 1 | 1 | 2 | 2 | | | | 9 |
| ヴァヌアツ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 2 |
| 西サモア | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | 2 | | 2 | | 7 |
| 2カ国以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 6 | 2 | 1 | | 3 | 4 | | 20 |
| その他 | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 3 | 4 | 1 | | 8 | 19 |
| マルタ | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2カ国以上 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3 | 4 | 1 | | 8 | 17 |
| 合 計 | 19 | 21 | 20 | 19 | 22 | 21 | 25 | 26 | 31 | 38 | 52 | 58 | 66 | 81 | 113 | 167 | 213 | 263 | 260 | 306 | 294 | 329 | 375 | 289 | 316 | 3,424 |